

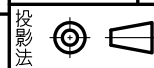
12	締付ナット	黄銅	1	Ni	
11	ワッシャー	黄銅	1	Ni	
10	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
9	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
8	クランプ	黄銅	1	Ni	
7	本体	黄銅	1	Ni	
6	平ワッシャー	黄銅	1	Ni	
5	ウェーブワッシャー	炭素工具鋼	2	Ni	
4	半円平ワッシャー	黄銅	2	Ni	
3	嵌合部ガスケット	シリコンゴム	1	--	
2	絶縁体	テフロン	1	--	
1	接続ナット	亜鉛ダイカスト	1	Ni	
番号	部 品 名	材 質	数量	処 理	備 考

尺度 2/1
単位 mm
日付 2018.05.10

製 図	検 図	承 認	確 認
檜 澤	山 本	山 本	三 村
'18.05.10	'18.05.10	'18.05.10	'18.05.10

RoHS Compliant Cd ≤75ppm
REMARKS BRASS: Cd ≤75ppm
PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

品 名
BNCP-7 75Ω
図 番 X-0315195



仕 様 書

品 名 BNCP-7 75Ω

No. 0312024

図 番 X-0315195

定 格 1 参考規格 JEITA RC-5233
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 6GHz
 4 公称インピーダンス 75Ω
 5 使用温度範囲 -40℃～+85℃
 6 使用湿度範囲 90%RH以下（結露なきこと）



株式会社 **トーコネ**
 TO-CONNE CO.,LTD.

項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す	異常のないこと
	材 質	(図番 X-0315195)	
	仕上げ及び表示		
4	絶縁抵抗	DC 500V	5000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1500 1分間	異常のないこと
6 7	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ以下
	電圧定在波比	DC～4GHzまで 4GHz～6GHzまで	1.2以下 1.3以下
8 9 10	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
	結合部接続強度	適合コネクタを結合させ、軸方向に245Nの 引張力を加えたとき	接続スリーブの外れ 等異常のない事
	ケーブル接続強度	適合ケーブルをコネクタに接続し 軸方向に250Nの引張力を加えたとき	異常のないこと
11			
12	適合ケーブル	7C-2V、S-7C-FB (フジクラダイヤ製)	

変更履歴		日付
1		
2		
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
 三 18.09.04 村	 山 18.09.04 本	 山 18.09.04 本	 樽 18.09.04 澤

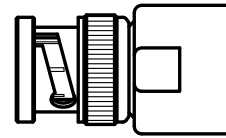
GKQM-7

BNCP-7 75Ω 取付仕様書

適合ケーブル

フジクラ製：7C-2V、7C-FB、S-7C-FB

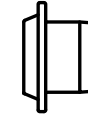
部品構成



本体



中心コンタクト



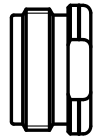
クランプ



ガスケット



ワッシャー



締付ナット

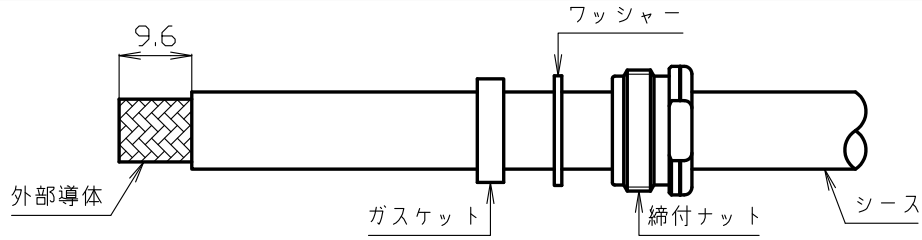
図番

X-0315195



株式会社 トーコネ
TO-CONN CO., LTD.

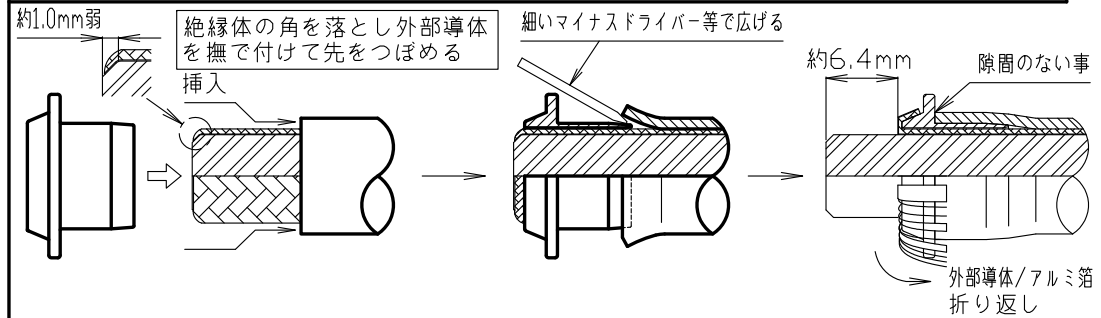
製図	検図	承認	確認
 榎澤 '18,08,27	 山本 '18,08,27	 山本 '18,08,27	 三村 '18,08,27



① 同軸ケーブルへ締付ナット、ワッシャー、ガスケットの順に通し、
図中の寸法で切りとる。

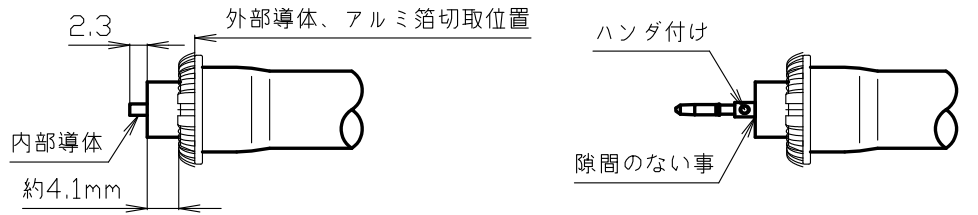
<mm>

② ケーブルの外部導体とシースの間にクランプを挿入し、外部導体を
はぐし折り返して切りそろえる。アルミ箔がある場合、たんざく状に
切って折返し外部導体の上に撫で付ける。
この時、クランプはケーブル外皮との隙間が無くなるまで挿入する事。

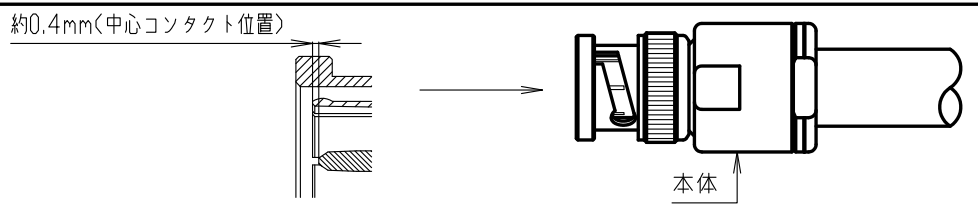


重要

クランプを挿入する前に、ケーブル絶縁体の先端の角を落として外部
導体を撫で付けておき挿入し易くする。クランプをシースに挿入する際は
左図のように細いマイナスドライバー等でシースを広げながらクランプ
全周にシースが被ってから押し込むと挿入し易いです。



③ 絶縁体と折返した外部導体/アルミ箔を図中の寸法で切り取り、
中心コンタクトを内部導体にセットしてハンダ付けする。
ハンダ付けの後、中心コンタクトを手で引張り抜けない事を確認する
注意：中心コンタクトとケーブル絶縁体の間に隙間が無い事
また、熱によりケーブル絶縁体に変形しない事



④ 本体を装着し、締付ナットをスパナ等で締め付けて作業を完了
する。(締付ナットは隙間が無くなるまで締め付ける事)
※中心コンタクトの位置は左図を参考にする事。